



はじめりは後悔から...
刺身が食べたいとお話しされたお客様が
いました。
2口くらい食べ、その後にサクションを
かけました。
**本当に『おいしく』食べたの
だろうか...**

どこに後悔したか？

どのような状態にいたのか...
すぐに亡くなるかもしれないことが
しっかりと把握できていれば、
もっと『おいしく』食べることが
できたのではないか

栄養ケアチームの発足

- 平成22年より発足
- 構成メンバー
施設長、生活相談員、看護職員、
介護職員、介護支援専門員、
管理栄養士
- 月1回の会議の実施
- ターミナルの方針を決める
- 栄養状態、体調管理についての検討
- 日々のミールラウンドの報告

各職種・現場スタッフに発信

食事
水分
口腔ケア
介護技術
学習療法
栄養ケア
チーム会議

それでもうまくいかない...
○寿命は、経験を積むと見えにくい
○理由
平均
ターミナル評価表を
作成した

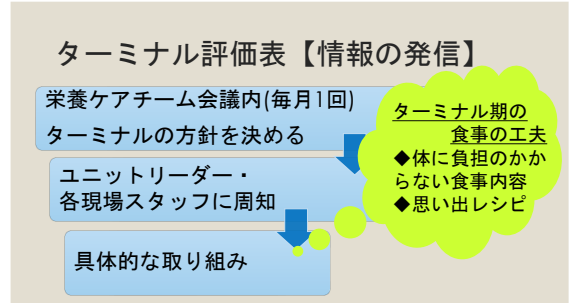
ターミナル評価表

ユニット名	名前	年齢	ムシテラ	意向	同意書	急変時	状態	栄養リスクALB値	体重	BMI	水分	備考	
ターミナル		88	H28 12/20	固	H28 12/20	○	安定	高	3	40.6	17.6	-	【1】20/30より、エネルギー800k
		91	H28 7/4	固	H28 7/4	○	安定	低	4	24.4	18.9	875	【1】20/24より更に回数、朝はエン
		100	H28 7/28	固	H28 7/28	○	安定	低	3.7	44.9	18.9	955	後がらみが強く、発熱もあり、食
		95										608	体重は2kg減少、食事や水分は
		87										764	【1】腎機能低下、アルブミン反
		96										450	栄養状態は極めて安定、発熱等

＜入力項目＞
◆年齢、意向や同意書の有無
◆急変時の対応方法
◆急変しそうかどうかの状態
◆栄養状態のリスク
◆ALB値、体重、BMI、水分量

ターミナル評価表【お客様の分類分け】



ターミナル期	看取り期に入った方は 優先的にケアをすすめる
看取り期	
終末期	
プレ ターミナル期	・体調や栄養状態の低下、食卓量減少があり ・ターミナル期に移る可能性が高い状態
予備群	・何かしらの変化(体調や栄養状態の低下)が 見られる状態
病院確定	・最期は病院を希望されている



ターミナル期の食事の工夫①

体に負担のかからない食事の内容に変更

- ◇エネルギー量を減らす(目安600kcal程度)
- ◇食事回数を減らす
(3回食→2回食→1回食→水分のみ→絶飲食)
- ◇食欲の低下に合わせた食事提供
(あん・うどん・刺身など)





ターミナル期の食事の工夫②

思い出レシピ

- ◎食べたい物、好きな食べ物、昔作っていた料理を本人とご家族に聞く
- ◎ご家族と職員と一緒に食べ、思い出作りをする

◎時期：ターミナル期から終末期




ターミナル評価表の効果①

穏やかな看取りを迎えられる

- ◎肺炎での入院者の減少
- 無理に食べない、飲まないこと**

さいごを迎える準備として、
体は食べ物を必要としなくなる

ターミナル評価表の効果②

食べたいとお話しされた物を亡くなる前に食べて頂くことができるようになった

⇒ **思い出レシピ**につなげている

	H23~28	H29	H30
ターミナル者数	82名	9名	3名
思い出レシピ実施	51名【62%】	7名【78%】	3名【100%】

ご家族と一緒においしく食べる看取りケア



- A様 S5生まれ
- 栃木県出身
- 北海道へ
- 平
- キ
- 既往

食べたものが身にならない(食べていても体重減少がある)

	介護度	食事量	体重	BMI	Alb値
H26.7	4	9~10割	45.1kg	23.7	4.2
H26.8	4	9~10割	43.6kg	22.9	3.8

変化のある時期～栄養状態の改善

好きな食べ物の提供と栄養補助食品の追加

	H27.6	H27.11	H28.12	H29.1	H29.5	H29.6
状態						永眠
体重	34.1			29.3	29.8	
BMI	17.9			15.4	15.6	
Alb値	3.7				3.3	

終末期～思い出レシピ
看取り期～食事変更
ゼリーのみ→絶飲食へ

ターミナル期～体に負担のかからない食事内容へ
3回食から2回食へ変更

多職種役割

	ターミナル期	終末期(思い出作り)
介護支援専門員	臨時の担当者会議の開催	臨時の担当者会議の開催、環境作り
看護職員	多職種と医師に体調発信	食べられるかの判断
管理栄養士	食事内容の提案	思い出レシピの調理
介護職員	嗜好の把握	ご家族と一緒に食べる
生活相談員	意向確認、同意書作成	医師への情報提供、思い出レシピの日程調整
ご家族	看取りの覚悟、面会	思い出レシピ参加、宿泊

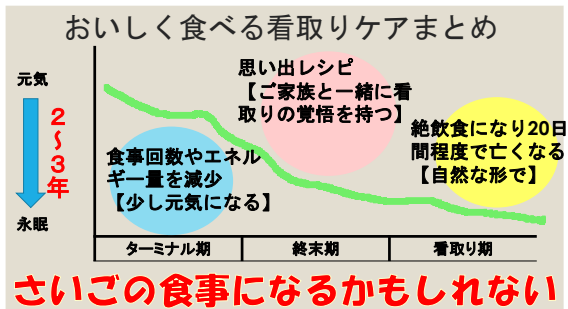


A様の看取りケアから学んだこと

終末期でも『おいしく』

食べることができる

**ご家族と一緒に食事をする
さいごの特別な時間**



さいごに

介護理念【最期の時まで口から食べる】

多職種協働で

その方に合わせた『おいしい』食事作り

ご清聴ありがとうございました